

浜の活力再生プラン  
(第2期)

## 1 地域水産業再生委員会 浜プラン ID 129003

組織名	阿南市地域水産業再生委員会
代表者名	会長 松江 剛

再生委員会の構成員	福村漁業協同組合、中林漁業協同組合、橘町漁業協同組合、椿泊漁業協同組合、阿南漁業協同組合、伊島漁業協同組合、阿南中央漁業協同組合、阿南市
オブザーバー	徳島県、徳島県漁業協同組合連合会

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	対象地域 阿南市全域 対象漁業者 481 人 対象漁業種類 網漁業 196 人 (小型機船底びき網 58 人、瀬戸内海機船船びき網 54 人、刺網 39 人、小型定置網 31 人、磯建網 14 人)、釣漁業 98 人 (延縄 59 人、一本釣 39 人) 採貝藻 102 人、魚類藻類養殖業 25 人、雑漁業 (かご等) 60 人
-------------------	--

## 2 地域の現状

## (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>阿南市内には、7つの漁協があり、漁業種類は、瀬戸内海機船船びき網や小型機船底びき網、延縄、採貝藻、魚類藻類養殖業(わかめ、のり、はまち)等を中心に、7漁協とも類似する漁業種類となっている。各浜各漁協の漁場は紀伊水道や太平洋に面し、水揚げされる魚種についても類似している。また、7漁協とも所属する組合員は年々減少傾向で、漁業者の高齢化や後継者不足が深刻であり、魚価の低迷、漁業コストの増大など抱えている問題や課題は共通するものとなっている。</p>
--

## (2) その他の関連する現状等

<p>阿南市内の7漁協は、各漁協の組合長で構成される「阿南市水産振興会」や各漁協の青壮年層で構成される「阿南市漁協青壮年部協議会」など、漁協の規模や組合員・職員数の多少などに関わらず、全浜全漁協が一つとなって、直売や浜の清掃活動など、様々な取り組みを行ってきた経緯と現状がある。浜が違うということだけで、プランを各浜各漁協で取り組んでいるのは、規模が小さな浜や漁協は、事業の執行能力(予算や経費面、職員数)等を考慮すれば、浜プランを作成したとしても実施するには限界があり、またその効果の波及についても限定される。このようなことから、阿南市では7漁協が協力し一つの浜の活力再生プランに取り組んでいる。第2期についても、引き続き一つの浜の活力再生プランに取り組むことに</p>
--

より、真の浜の活力再生に取り組んでいく。

### 3 活性化の取組方針

#### (1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

## (2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

第1期の成果及び課題等をふまえ、第2期の基本方針として、前期の取り組みを継続・拡大し、また、新たな取り組みとして追加し、以下のとおり取り組むこととする。

### 【漁業収入向上のための取り組み】

#### ・阿南市水産物PR活動の取組

PR活動の取組効果についての判断は難しいが、阿南市の施策として他の一次産業とも連携して取り組んでいる活動であり、今期も継続し取り組んでいくこととする。

#### ・食育の取組、未利用資源の商品化

水産物消費拡大に効果のあった食育の取組、新たな収入源として効果のあったウツボ等未利用資源の商品化について、継続して取り組む。さらに、ウツボ以外の未利用資源の活用についても検討し、取り組んでいく。

#### ・種苗放流による資源増殖の取組

アワビ、ヒラメ、クルマエビの増減について、種苗放流の有無によるものかどうかは判断し兼ねるが、種苗放流は資源増殖の基本的な手法であるので継続して取り組んでいく。

また、新規魚種として、マコガレイ、サザエを追加する。

#### ・資源管理の取組

今期の新たな取組として、上記の資源増殖の取組対象魚種について、漁獲量・漁獲金額・漁業者数・漁船数をデータ化し、管理する。

また、資源管理についての漁業関係法令や漁業調整規則等で規定されている公的管理措置を遵守し、自主管理措置を適切に実施することにより、水産資源の適切な管理を徹底する。

#### ・海の環境保全の取組

密漁監視や海の環境監視活動に取り組むことで海の環境保全に努め、生産性を向上させる。

#### ・衛生管理型流通の取組

水揚げから出荷に至る衛生管理等の徹底により漁獲物の付加価値向上に努め、魚価の向上へつなげていく。

#### ・広域浜プランに掲げた「市場機能集約」等の取り組みにより魚価の向上を図る。

<p><b>【漁業コスト削減のための取り組み】</b></p> <p>①船底清掃を行うことで、燃費向上に努め、経済的な経営をすすめる。</p> <p>②省燃油を心がけた操業により、燃費消費量を抑制し、効率的な経営をすすめる。</p> <p>③漁業者の漁業経営セーフティネット構築事業への加入促進に努め、燃油高騰時のリスク低減を図る。</p> <p>④機器設備等のメンテナンス実施による負荷の軽減を図る。</p> <p>これらの取り組みに関しては、国、県、市の事業の活用を図ることとし、漁業収入向上と漁業コスト削減とを組み合わせ、総合的に漁業者の所得向上を図る。</p>
--

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

<p>徳島県漁業調整規則による禁止期間の制定、わかめ（7月1日～2月末日）、アワビ（10月1日～1月31日）伊勢海老（5月15日～9月15日）等</p>
--

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成31年度）「所得4%向上」

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取り組みにより、漁業収入を基準年比0.5%向上させる。</p> <p><b>【PR活動の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採貝藻や藻類養殖業者が漁獲・収穫し加工した塩蔵わかめ、乾燥ヒジキ等を、阿南市東京事務所を活用し、関東地方で行われるイベントでPR（直売やイベント参加者にお土産として配布する。）し、販路拡大を図る。</li> <li>・阿南市観光協会を通じて水産物のPRを行い、消費拡大を図る。</li> <li>・漁協等が開催するイベントを通じて水産物の直売によるPRを行い、消費拡大を図る。</li> <li>・網漁業者及び釣漁業者により漁獲された鱧を使った「あなん丼」のPRを推進し、鱧の利用促進により魚価の向上を図る。</li> </ul> <p><b>【食育の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿南市漁協青壮年部等が主体となり、市内外の小・中学生とその家族を対象とした「お魚料理教室」等を行う。</li> </ul> <p><b>【未利用資源の開発】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウツボ等未利用漁獲物を有効活用し、漁業収入の増加を図る。</li> <li>・未利用資源の活用について、新規魚種の検討を開始し、試験的に出荷する。</li> </ul> <p><b>【資源増殖の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採貝藻漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたアワビ稚貝の放流を継続して行う。</li> <li>・網漁業者及び釣漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り</li> </ul>
---------------------	---

	<p>組んできたヒラメの種苗放流を継続して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・網漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたクルマエビの種苗放流を継続して行う。</li> <li>・新規魚種について、関係機関と連携して試験的に放流を行い、放流適地、適期、最適サイズについて検討する。</li> </ul> <p><b>【資源管理の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源増殖の取組対象魚種について、漁獲量・漁獲金額・漁業者数・漁船数をデータ化し、管理する。</li> <li>・資源管理についての漁業関係法令や漁業調整規則等で規定されている公的管理措置を遵守し、自主管理措置を適切に実施することにより、水産資源の適切な管理を徹底する。</li> </ul> <p><b>【環境保全の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・密漁監視や海の環境監視活動に取り組むことで、海の環境保全に努め、生産性を向上させる。</li> </ul> <p><b>【衛生管理型流通の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質向上のため、荷さばき区域内における流通活動の見直し（水揚げから出荷までの漁獲物への接触回数を減らす等）を開始する。</li> <li>・荷さばき区域内において、車の排気ガス、たばこのポイ捨て等による水産物への汚染に留意し、会員会議にて構成員間で確認する。</li> <li>・荷さばき区域内において、専用の靴を利用するなどして水産物への汚染物質の混入がないよう留意し、会員会議にて構成員間で確認する。</li> <li>・付加価値向上のため、漁業者が漁獲物の取扱いを丁寧にするすることで魚価の向上につながることを意識し、会員会議にて構成員間で確認する。</li> </ul>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組により、漁業コストを基準年から0.5%削減させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な船底清掃を実施し、燃費向上に努める。</li> <li>・燃油消費量を抑制するため、減速航行、不要な積載物の削減による船体の軽量化等、省燃油を心がけた操業に徹する。</li> <li>・漁業者の漁業経営セーフティーネット構築事業への加入促進に努め、燃油高騰時のリスク低減を図る。</li> <li>・機器設備等のメンテナンス実施による負荷の軽減を図る。</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>漁業経営セーフティーネット構築事業（国）  競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）  水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）  浜の活力再生プラン推進事業（国）  水産業強化支援事業（国）  離島漁業再生支援交付金（国）  水産多面的機能発揮対策事業（国）</p>

	阿南市単独水産振興事業（市） 徳島県単独水産振興関係事業（県）
--	------------------------------------

2年目（平成32年度）「所得6.3%向上」

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取り組みにより、漁業収入を基準年比1.0%向上させる。</p> <p><b>【PR活動の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採貝藻や藻類養殖業者が漁獲・収穫し加工した塩蔵わかめ、乾燥ヒジキ等を、阿南市東京事務所を活用し、関東地方で行われるイベントでのPR（直売やイベント参加者にお土産として配布する。）を継続して行い、販路拡大に努め、効果を検証する。</li> <li>・阿南市観光協会を通じて水産物のPRを継続して行い、消費拡大に努め、効果を検証する。</li> <li>・漁協等が開催するイベントを通じて水産物の直売によるPRを継続して行い、消費拡大に努め、効果を検証する。</li> <li>・網漁業者及び釣漁業者により漁獲された鱧を使った「あなん丼」のPR推進を継続して行い、鱧の利用促進により魚価の向上に努め、効果を検証する。</li> </ul> <p><b>【食育の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿南市漁協青壮年部等が主体となり、市内外の小・中学生とその家族を対象とした「お魚料理教室」等を継続して行い、効果を検証する。</li> </ul> <p><b>【未利用資源の開発】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウツボ等未利用漁獲物を引き続き有効活用し、漁業収入の増加に努める。</li> <li>・新規未利用資源について、引き続き試験的に出荷する。</li> </ul> <p><b>【資源増殖の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採貝藻漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたアワビ稚貝の放流を継続して行う。</li> <li>・網漁業者及び釣漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたヒラメの種苗放流を継続して行う。</li> <li>・網漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたクルマエビの種苗放流を継続して行う。</li> <li>・新規魚種について、引き続き関係機関と連携して試験的に放流を行い、放流適地、適期、最適サイズについて検討する。</li> </ul> <p><b>【資源管理の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源増殖の取組対象魚種について、漁獲量・漁獲金額・漁業者数・漁船</li> </ul>
---------------------	--

	<p>数をデータ化し、管理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源管理についての漁業関係法令や漁業調整規則等で規定されている公的管理措置を遵守し、自主管理措置を適切に実施することにより、水産資源の適切な管理を徹底する。</li> </ul> <p><b>【環境保全の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・密漁監視や海の環境監視活動に継続して取り組むことで、海の環境保全に努め、生産性を向上させる。</li> </ul> <p><b>【衛生管理型流通の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流通活動の見直し事項（水揚げから出荷までの漁獲物への接触回数を減らす等）について会員会議にて検討し、チェックリストを作成する。</li> <li>・荷さばき区域内において、車の排気ガス、たばこのポイ捨て等による水産物への汚染に留意し、会員会議にて構成員間で確認し、上記チェックリストに組み入れる。</li> <li>・荷さばき区域内において、専用の靴を利用するなどして水産物への汚染物質の混入がないよう留意し、会員会議にて構成員間で確認し、上記チェックリストに組み入れる。</li> <li>・付加価値向上のため、漁業者が漁獲物の取扱いを丁寧にすることで魚価の向上につながることを意識し、会員会議にて構成員間で確認し、上記チェックリストに組み入れる。</li> </ul>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組を継続して行い、漁業コストを基準年から0.5%削減させる。(1年目からの削減効果を継続する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な船底清掃を実施し、燃費向上に努める。</li> <li>・燃油消費量を抑制するため、減速航行、不要な積載物の削減による船体の軽量化等、省燃油を心がけた操業に徹する。</li> <li>・漁業者の漁業経営セーフティーネット構築事業への加入促進に努め、燃油高騰時のリスク低減を図る。</li> <li>・機器設備等のメンテナンス実施による負荷の軽減を図る。</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>漁業経営セーフティーネット構築事業（国）  水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）  浜の活力再生プラン推進事業（国）  水産業強化支援事業（国）  離島漁業再生支援交付金（国）  水産多面的機能発揮対策事業（国）  阿南市単独水産振興事業（市）  徳島県単独水産振興関係事業（県）</p>

3年目（平成33年度）「所得8.6%向上」

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取り組み及び広域浜プランに掲げた成果目標（魚価の向上）達成により、漁業収入を基準年比 1.5%向上させる。</p> <p><b>【PR 活動の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採貝藻や藻類養殖業者が漁獲・収穫し加工した塩蔵わかめ、乾燥ヒジキ等を、阿南市東京事務所を活用し、関東地方で行われるイベントでPR（直売やイベント参加者にお土産として配布する。）し、検証結果に基づいて販路拡大のためのPR方法について再検討する。</li> <li>・阿南市観光協会を通じて水産物のPRを行い、検証結果に基づいて消費拡大のためのPR方法について再検討する。</li> <li>・漁協等が開催するイベントを通じて水産物の直売によるPRを行い、検証結果に基づいて消費拡大のためのPR方法を再検討する。</li> <li>・網漁業者及び釣漁業者により漁獲された鱧を使った「あなん井」のPRを推進し、検証結果に基づいて鱧の利用促進による魚価向上のためのPR方法を再検討する。</li> </ul> <p><b>【食育の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿南市漁協青壮年部等が主体となり、市内外の小・中学生とその家族を対象とした「お魚料理教室」等を行い、検証結果に基づいて実施方法を再検討する。</li> </ul> <p><b>【未利用資源の開発】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウツボ等未利用漁獲物の有効活用について、再検討する。</li> <li>・試験的に出荷した新規未利用資源について、加工方法、出荷方法、販売先について検証する。</li> </ul> <p><b>【資源増殖の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採貝藻漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたアワビ稚貝の放流を継続して行う。</li> <li>・網漁業者及び釣漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたヒラメの種苗放流を継続して行う。</li> <li>・網漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたクルマエビの種苗放流を継続して行う。</li> <li>・新規魚種について、試験的に放流した結果を集約し、検証して、改善に向けての新たな試験や放流を行う。</li> </ul> <p><b>【資源管理の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源増殖の取組対象魚種について、漁獲量・漁獲金額・漁業者数・漁船数をデータ化し、管理する。</li> <li>・資源管理についての漁業関係法令や漁業調整規則等で規定されている公的管理措置を遵守し、自主管理措置を適切に実施することにより、水産資源の適切な管理を徹底する。</li> </ul> <p><b>【環境保全の取組】</b></p>
---------------------	--



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・密漁監視や海の環境監視活動に継続して取り組み、その効果を検証する。</li> </ul> <p><b>【衛生管理型流通の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理型流通の取り組みについて、流通活動、荷さばき区域内における水産物の衛生管理、組合員の衛生管理への意識向上、付加価値向上のための施策等について作成したチェックリストを元に、改善策を検討する。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<p>以下の取組を継続して行い、漁業コストを基準年から0.5%削減させる。 (1年目からの削減効果を継続する。)また、取組内容が漁業所得の向上につながったかを検証し、問題点を洗い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な船底清掃を実施し、燃費向上に努める。</li> <li>・燃油消費量を抑制するため、減速航行、不要な積載物の削減による船体の軽量化等、省燃油を心がけた操業に徹する。</li> <li>・漁業者の漁業経営セーフティーネット構築事業への加入促進に努め、燃油高騰時のリスク低減を図る。</li> <li>・機器設備等のメンテナンス実施による負荷の軽減を図る。</li> </ul>
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティーネット構築事業 (国) 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業 (国) 浜の活力再生プラン推進事業 (国) 水産業強化支援事業 (国) 離島漁業再生支援交付金 (国) 水産多面的機能発揮対策事業 (国) 阿南市単独水産振興事業 (市) 徳島県単独水産振興関係事業 (県)</p>

#### 4年目(平成34年度)「所得9.5%向上」

漁業収入向上のための取組	<p>以下の取り組みにより、漁業収入を基準年比1.7%向上させる。</p> <p><b>【PR活動の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採貝藻や藻類養殖業者が漁獲・収穫し加工した塩蔵わかめ、乾燥ヒジキ等を、阿南市東京事務所を活用し、関東地方で行われるイベントでPR(直売やイベント参加者にお土産として配布する。)し、再検討したPR方法について実践する。</li> <li>・阿南市観光協会を通じて水産物のPRを行い、再検討したPR方法について実践する。</li> <li>・漁協等が開催するイベントを通じて水産物の直売によるPRを行い、再検討したPR方法について実践する。</li> <li>・網漁業者及び釣漁業者により漁獲された鱧を使った「あなん井」のPRを推進し、再検討したPR方法について実践する。</li> </ul> <p><b>【食育の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿南市漁協青壮年部等が主体となり、市内外の小・中学生とその家族を</li> </ul>
--------------	---

	<p>対象とした「お魚料理教室」等を行い、再検討した内容について実践する。</p> <p><b>【未利用資源の開発】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウツボ等未利用漁獲物の有効活用について、再検討した内容について実践する。</li> <li>・試験的に出荷した新規未利用資源について、検証結果に基づき、さらなる取り組みの改善策を検討する。</li> </ul> <p><b>【資源増殖の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採貝藻漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたアワビ稚貝の放流を継続して行う。</li> <li>・網漁業者及び釣漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたヒラメの種苗放流を継続して行う。</li> <li>・網漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたクルマエビの種苗放流を継続して行う。</li> <li>・新規魚種について、前回までの放流・検証結果を元に、新たな試験や放流を継続して行う。</li> </ul> <p><b>【資源管理の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源増殖の取組対象魚種について、漁獲量・漁獲金額・漁業者数・漁船数をデータ化し、管理する。</li> <li>・資源管理についての漁業関係法令や漁業調整規則等で規定されている公的管理措置を遵守し、自主管理措置を適切に実施することにより、水産資源の適切な管理を徹底する。</li> </ul> <p><b>【環境保全の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・密漁監視や海の環境監視に継続して取り組み、検証結果を元に改善策を検討する。</li> </ul> <p><b>【衛生管理型流通の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理型流通の取り組みについて、流通活動、荷さばき区域内における水産物の衛生管理、組合員の衛生管理への意識向上、付加価値向上のための施策等について、チェックリストを元にした取り組みの改善策を実践する。</li> </ul>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組を継続して行い、漁業コストを基準年から0.5%削減させる。(1年目からの削減効果を継続する。)</p> <p>また、洗い出した問題点についての解決方法を探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な船底清掃を実施し、燃費向上に努める。</li> <li>・燃油消費量を抑制するため、減速航行、不要な積載物の削減による船体の軽量化等、省燃油を心がけた操業に徹する。</li> <li>・漁業者の漁業経営セーフティーネット構築事業への加入促進に努め、燃油高騰時のリスク低減を図る。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機器設備等のメンテナンス実施による負荷の軽減を図る。</li> </ul>
活用する支援措置等	漁業経営セーフティネット構築事業（国） 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） 浜の活力再生プラン推進事業（国） 水産業強化支援事業（国） 離島漁業再生支援交付金（国） 水産多面的機能発揮対策事業（国） 阿南市単独水産振興事業（市） 徳島県単独水産振興関係事業（県）

5年目（平成35年度）「所得10.9%向上」

漁業収入向上のための取組	<p>以下の取り組みにより、漁業収入を基準年比2.0%向上させる。</p> <p><b>【PR活動の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採貝藻や藻類養殖業者が漁獲・収穫し加工した塩蔵わかめ、乾燥ヒジキ等を、阿南市東京事務所を活用し、関東地方で行われるイベントでPR（直売やイベント参加者にお土産として配布する。）し、再検討したPR方法について実践する。</li> <li>・阿南市観光協会を通じて水産物のPRを行い、再検討したPR方法について継続して実践する。</li> <li>・漁協等が開催するイベントを通じて水産物の直売によるPRを行い、再検討したPR方法について継続して実践する。</li> <li>・網漁業者及び釣漁業者により漁獲された鱧を使った「あなん井」のPRを推進し、再検討したPR方法について継続して実践する。</li> </ul> <p><b>【食育の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿南市漁協青壮年部等が主体となり、市内外の小・中学生とその家族を対象とした「お魚料理教室」等を行い、再検討した内容について継続して実践する。</li> </ul> <p><b>【未利用資源の開発】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウツボ等未利用漁獲物の有効活用について、再検討した内容について継続して実践する。</li> <li>・新規未利用資源について、検討した改善策を元に今後の販売先、加工方法、出荷方法を確立する。</li> </ul>
--------------	---

	<p><b>【資源増殖の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採貝藻漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたアワビ稚貝の放流を継続して行う。</li> <li>・網漁業者及び釣漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたヒラメの種苗放流を継続して行う。</li> <li>・網漁業者が主体となって、漁協と協力しつつ、これまで取り組んできたクルマエビの種苗放流を継続して行う。</li> <li>・新規魚種について、再検証を行い、今後の放流技術を確立する。</li> </ul> <p><b>【資源管理の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源増殖の取組対象魚種について、漁獲量・漁獲金額・漁業者数・漁船数をデータ化し、管理する。</li> <li>・資源管理についての漁業関係法令や漁業調整規則等で規定されている公的管理措置を遵守し、自主管理措置を適切に実施することにより、水産資源の適切な管理を徹底する。</li> </ul> <p><b>【環境保全の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・密漁監視や海の環境監視に継続して取り組み、検討した改善策について実践する。</li> </ul> <p><b>【衛生管理型流通の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理型流通の取り組みについて、流通活動、荷さばき区域内における水産物の衛生管理、組合員の衛生管理への意識向上、付加価値向上のための施策等について、チェックリストを元にした改善策を引き続き実践する。</li> </ul>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組を継続して行い、漁業コストを基準年から0.5%削減させる。(1年目からの削減効果を継続する。)</p> <p>また、問題点の解決策について実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な船底清掃を実施し、燃費向上に努める。</li> <li>・燃油消費量を抑制するため、減速航行、不要な積載物の削減による船体の軽量化等、省燃油を心がけた操業に徹する。</li> <li>・漁業者の漁業経営セーフティーネット構築事業への加入促進に努め、燃油高騰時のリスク低減を図る。</li> <li>・機器設備等のメンテナンス実施による負荷の軽減を図る。</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>漁業経営セーフティーネット構築事業（国）  水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）  浜の活力再生プラン推進事業（国）  水産業強化支援事業（国）  離島漁業再生支援交付金（国）  水産多面的機能発揮対策事業（国）</p>

	阿南市単独水産振興事業（市） 徳島県単独水産振興関係事業（県）
--	------------------------------------

(5) 関係機関との連携

徳島県や徳島県漁業協同組合連合会、徳島県漁業共済組合と連携
-------------------------------

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 10.9%	基準年	平成 25～29 年度：漁業所得 千円
	目標年	平成 35 年度：漁業所得 千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

別紙のとおり
--------

※算出の根拠及びその方法等について詳細に記載し、必要があれば資料を添付すること。

(3) 所得目標以外の成果目標

漁ぎょ魚まつり参加人数 10%増	基準年	平成 26 年～29 年度の平均値：2,375 人
	目標年	平成 35 年度：2,612 人

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

イベント主催者からの聞き取りによる
-------------------

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業経営セーフティーネット構築事業（国）	燃油価格高騰時に補填を受け、漁業経営の安定化を図る。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）	生産性の向上、省力・省コスト化に資する機器等の導入
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）	リース方式による漁船購入支援
浜の活力再生プラン推進事業（国）	浜プラン見直しにかかる支援

水産業強化支援事業（国）	浜プランに位置づけられた施設整備の支援
離島漁業再生支援交付金（国）	アワビ稚貝放流や、未利用漁獲物を有効活用した加工商品を販売し、6次産業化を図り、漁業収入を向上させる。密漁防止のため、漁船からの漁業監視を実施して漁業資源の維持管理を図る。
水産多面的機能発揮対策事業（国）	操業活動に付加して監視・情報収集活動を行い、海の環境保全に努め、生産性を向上させる。
阿南市単独水産振興事業（市）	水産業振興の支援
徳島県単独水産振興関係事業（県）	水産業振興の支援